

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第6部門第1区分
【発行日】平成19年10月18日(2007.10.18)

【公開番号】特開2006-84363(P2006-84363A)
【公開日】平成18年3月30日(2006.3.30)
【年通号数】公開・登録公報2006-013
【出願番号】特願2004-270616(P2004-270616)
【国際特許分類】

G 0 1 N 27/447 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 27/26 3 0 1 C

G 0 1 N 27/26 3 1 5 H

【手続補正書】

【提出日】平成19年9月5日(2007.9.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

本発明の第2の実施例を以下に述べる。図5に本発明の実施例2の構成を示す。約30×30mmの平板ゲル57に高電圧パルスを加える。ブロック図で示した高電圧パルス電源51は、直流電源回路部52、無安定マルチバイブレータ53、昇圧パルストランス54などで構成され、高電圧パルス出力端子55から平板ゲル57に高電圧パルスが供給される。

平板ゲル57は、4～17%のグラジエントゲルで構成されている。2次元目電気泳動の電極液は陽極、陰極とも0.025Mトリス-0.19Mグリシン緩衝液を用いる。2次元電気泳動にあたっては、ヒト血清タンパク質試料を導入して用いた。実施例1同様のやり方で等電点分離を終了したゲルをキャピラリーから取り出して図中56で示した位置に載置して直ちに2次元目の泳動を開始する。

まず、パルス電圧約600V(パルス幅:約35μs、パルス周波数:15kHz)を平板ゲル57の両端に印加した。図中の60、61は、陰極、陽極を、また、58、59は陰極電極槽、陽極電極槽を示す。電圧印加後、約15分後に2次元電気泳動が完了した。ついで、平板ゲル57を取り外し、タンパク質染色液で染色した後、バックグラウンドを脱色して、鮮明なヒト血清の二次元電気泳動像を得ることができた。